



観光立国の実現のための取組

平成25年9月
環境省

世界を惹きつける国立公園の創出と発信

観光立国実現に向けたアクション・プログラム

3. 外国人旅行者の受入の改善－＜魅力ある観光地域づくり＞－(3) 地域の観光ポテンシャルの最大化

○観光資源として極めてポテンシャルの高い国立公園や世界遺産の自然を活かして、国内外から多くの観光客を呼び込み、地域を活性化するため、戦略的な情報発信、貴重な自然環境の質の高い保護・管理、重点的な施設の整備と運営管理の充実、エコツーリズムの推進等の取組を実施する。

**平成26年度概算要求：
日本の国立公園と世界遺産を活かした地域活性化
推進費 32億円**

魅力をさらに引き出す“四本の柱”

① 戦略的な情報発信

利用者ニーズに応えた情報をインターネット等を活用し、国内外に戦略的に発信。



② 質の高い保護管理

貴重な自然環境は、国の資産。国立公園、さらには世界遺産として、質の高い保護管理を実施。



③ 地域との連携とプログラムの強化

エコツーリズム、ジオパーク、ボランティア体制や協働型管理運営体制の導入により地域とともに利用推進。



④ 国立公園のバリューアップ(公共)

重点的な施設の整備と運営管理の充実を図り、自然資源を生かした観光の促進と地域の活性化を推進する。



利用者増→地域の活性化！！



我が国は、ポテンシャルの高い豊かな素晴らしい自然を多数有する

三陸復興国立公園を核としたグリーン復興の取組

観光立国実現に向けたアクション・プログラム

3. 外国人旅行者の受入の改善－＜魅力ある観光地域づくり＞－(4)被災地における旅行需要の喚起

○三陸復興国立公園の創設(平成25年5月24日創設、さらに平成26年中に南三陸金華山国定公園を編入)を核として、長距離自然歩道「みちのく潮風トレイル」を平成25年秋までに一部開通し、平成27年度中に全路線を設定するほか、エコツーリズムの推進(平成25年4月から5地域で取組:復興エコツーリズム推進モデル事業)、国立公園の利用施設の再整備等のグリーン復興プロジェクトを実施する。

平成26年度概算要求:

三陸復興国立公園再編成等推進事業費	6億円
三陸復興国立公園等復興事業	21億円

三陸復興国立公園の創設を核とした グリーン復興を実施＜7つのプロジェクト＞

- ①三陸復興国立公園の創設(自然公園の再編成)
- ②里山・里海フィールドミュージアムと施設整備
- ③地域の宝を活かした自然を深く楽しむ旅
- ④南北につなぎ交流を深める道・みちのく潮風トレイル
- ⑤森・里・川・海をつなぐの再生
- ⑥持続可能な社会を担う人づくりの推進
- ⑦地震・津波による自然環境への影響の把握

